

第6回第五次長期総合計画策定市民会議市民環境部会会議録

- 1 日 時 平成22年4月27日（火） 13：30～15：38
- 2 場 所 消防庁舎3階会議室
- 3 出席者
 - 委 員 ○部会長 真鍋昌裕 ○副部会長 続木明美
 - 伊藤秀紀 ○片山智雄 ○神岡敦子 ○田中恭子
 - 深川孝利 ○三浦稲男 （敬称略）
 - 事務局 ○専門部会長 曾我 忠 ○専門部会副部会長 古川和彦
 - 委員 藤田佳之、毛利弘、塩崎誠、小笠原泰、永易睦月、
 - 本田陸治、伊藤春夫、曾我部信也
 - まちづくり担当 曾我部雅章、曾我部みさ
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 事
 - (1) 専門部会長のあいさつ、委員の自己紹介
 - (2) 部会長あいさつ
 - (3) 6施策の基本計画（案）についての意見交換
 - (4) 次回の日程

曾我専門部会長	(1) 専門部会長あいさつ、委員の自己紹介
真鍋部会長	(2) 部会長 開会あいさつ
曾我専門部会長	・配布資料の確認とスケジュールの説明 ・全体に係る表現の修正点等の説明 二つのフィールドの6施策の基本計画（案）について、意見交換をお願いします。
藤田次長	(3) 6施策の基本計画（案）についての意見交換 2-1 地球環境の保全 （前回からの変更点等の説明）
真鍋部会長	○取組方針 ここに、田園都市としての自然環境（山、海、農地）の保全に関し、大きく取り上げて欲しい。さらに今一番ホットなバイオマス・タウン構想等のキーワードを入れてはどうか。
曾我専門部会長	取組方針の中へ入れるということでしょうか。
真鍋部会長	そうです。
曾我専門部会長	取組方針の中へ、表現等を検討して加えます。

真鍋部会長	○現状と課題 市の施策を述べているのか、市民を含めての話なのか分かりづらい
真鍋部会長	○活動指標と計画値 ○成果指標と目標値 具体的な数値を掲げても、市民の関心は市全体にある。
真鍋部会長	○取組方針に基づく基本計画・主な取組内容 環境自治体会議だけが具体的な表現で、その他は抽象的な表現になっている。
真鍋部会長	○個別計画 各計画が平成21年度見直しになっているが、今回の長期総合計画での議論が反映されないことになる。今後、長期総合計画の策定年度と見直しを合わせるようにしてはどうか。
藤田次長	2-2 生活環境の保全 (前回からの変更点等の説明)
真鍋部会長	○取組方針 ①大気環境の保全に努めるとあるが、市として対応できる問題なのか。
真鍋部会長	○現況と課題 「・・・が達成できていません。」という表現は適切か。自分たちが大気を汚している訳ではないのに。また、水洗化だけを取り上げるのはどうか。「排水の浄化」の方が意味が分かり易いのでは。
曾我専門部会長	この部分の表現については、再度検討します。
真鍋部会長	○取組方針に基づく基本計画・主な取組内容 合併処理浄化槽の清掃状況等を、市がチェックできないのか。
曾我専門部会長	法律的な面から、再度確認します。
真鍋部会長	○協働のまちづくりのための取組 「水路の消毒」というのは、まだしているのか。時代遅れのような気がするが。何か、排水への監視体制ができないものか。
曾我専門部会長	以前のように無差別に配布するのではなく、希望のあった自治会に配っている。
真鍋部会長	何か、市として排水への監視体制ができないものか。
本田課長	2-3 ごみ減量の推進 (前回からの変更点等の説明)

真鍋部会長	○現況と課題 「ごみステーションの管理では自治会の負担が大きくなって・・・」 というのはネガティブな表現なので、もっと前向きに、自主的に 取り組むような、協働の精神を読み込んでほしい。
続木副部会長	ごみステーションへの持ち込みごみは、以前からの問題で私たち ボランティア活動をしている者も苦勞している。持ち込みする者 に自治会が何とかしてくれるという甘えがあるのでは。
真鍋部会長	○取組方針に基づく基本計画・主な取組内容 環境美化活動とあるが、取組方針の不法投棄防止活動との比較で はどうか。
真鍋部会長	○協働のまちづくりのための取組 市民が行政を助けるかのような表現で、行政の主体性が分かりにく い。行政のやることを市民が助けるだけではいけない。また、 「適正なごみ処理体制を整備する・・・」の整備以外の言葉はな いか。より適切な言葉を考えてほしい。
曾我部課長	6-1 安全安心な生活空間の形成 (前回からの変更点等の説明)
真鍋部会長	○取組方針 「備蓄物資の充実を図る」のは良いが、自分の身は自分で守る「自 助」を推奨する方針も述べたらどうか。
三浦委員	○取組方針に基づく基本計画・主な取組内容 6-1-3 自主防災組織の拡充とあるが、すでに全校区組織できたの ではないか。
曾我部課長	校区の連合自治会だけでなく、それぞれの単位自治会にも自主防 災組織を広げたい。現に組織し、防災用品の購入等積極的に活動 を開始している単位自治会もある。
三浦委員	今後は、単に組織を広げるだけでなく、組織の維持・機能の充実、 各組織の横断的な会合の開催などにも繋げていけばよいのでは。
毛利主幹	6-2 消防体制の充実 (前回からの変更点等の説明)
真鍋部会長	○成果指標と目標値 救命率の定義は。
毛利主幹	(説明)
古川消防長	

三浦委員	消防団員の充足率96%を100%の目標値に近づける効果的な方策はあるのか。一般市民は、消防団と常備消防の違いも分かっていないような気がする。
毛利主幹 古川消防長	市内企業にも、社員の団員加入や団員の活動参加について、理解と協力を求めているが、今後も広報・周知に努める。
曾我専門部会長	6-3 消費者の自立支援と相談体制の充実 （前回からの変更点等の説明）